

道徳（科）における教材論と授業論のこれまでとこれから

「道徳の時間」に替わって、新たに位置付けられた「特別の教科 道徳」（「道徳科」）が実施され3年ないし4年を経過する。ただ、教材や指導方法、評価など、道徳科においてこれまでと比べ何がどのように変容しつつあるのか、未だに明らかになっていないことも多い。さらに、道徳科におけるデジタル化への対応についての課題もある。そこで今回は、『兵庫県道徳副読本』の作成にも関わられた馬場 勝 会員（文部科学省）をお招きして、研究者の視点から、まず「道徳（科）における教材論と授業論のこれまで」についてご講演をいただく。さらに、「これからの道徳科における教材と授業の在り方」について、本学会会長との対談を通して探っていききたい。

■ 日時・スケジュール

Web 会議システム（Zoom）を使用

2021. 11 / 28（日）

13：00～15：00



開会のあいさつ 13：00

講演 13：05～13：35

文部科学省初等中等教育局 主任教科書調査官
馬場 勝

対談 13：40～14：25

文部科学省初等中等教育局 主任教科書調査官
馬場 勝

VS

兵庫教育大学大学院 教授
谷田 増幸

質疑応答 14：25～14：55

閉会のあいさつ 14：55

■ 参加方法

▶ 学会員の方には、郵便により参加方法をお知らせします。

▶ 非会員の方は、お名前・ご所属・メールアドレスを明記して、右記アドレス宛にメールでご連絡ください（11月20日まで）。折り返し参加方法をお伝えします。

■ 登壇者紹介

[馬場 勝 プロフィール]

大阪府・兵庫県の公立学校教諭、兵庫県教育委員会義務教育課主任指導主事、兵庫県立教育研修所義務教育研修課長を経て、平成27年より文部科学省初等中等教育局教科書調査官、令和3年より同主任教科書調査官。学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者（中学校特別の教科 道徳）。主要論文：「道徳的価値の自覚をめざす教材における構成原理の可能性—「兵庫県道徳副読本」の作成過程の分析を通して—」（日本道徳教育方法学会編『道徳教育方法研究』第20号）。

[谷田 増幸 プロフィール]

広島市立中・高等学校教諭、広島市教育センター指導主事を経て、平成18年より国立教育政策研究所教育課程調査官〔（併任）文部科学省初等中等教育局教育課程課教科書調査官〕。平成22年より兵庫教育大学大学院教授（令和2年7月より本学会会長）。中央教育審議会専門委員（初等中等教育分科会）（平成26年3月～平成31年2月）。教科用図書検定調査審議会委員（平成27年4月～平成31年3月）。論文：「「特別の教科 道徳」の特質」（文部科学省教育課程課編『中等教育資料』）学事出版 2015(Jun.) 他。

■ 主催

日本道徳教育方法学会

✉ jamme.office@gmail.com
（オンラインセミナー専用アドレス）

🖥️ <https://jamme.sakura.ne.jp/>